

ベルマーク新聞 7月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

「運動会で団体技を披露したい」

三重・尾鷲市立賀田小で、今年度最初の一輪車講習会



㊤練習を終えて、笑顔で記念撮影 ㊦㊧どこにもつかまらず、勢いつけて跳び乗りできるかな ㊨㊩扱いが難しいロングの一輪車にも挑戦

三重県尾鷲市の市立賀田小学校（稲葉武彦校長、児童 21 人）で 6 月 3 日、ベルマーク財団主催の一輪車講習会が開かれました。

同校は、5 月の運動会と 11 月の学習参観会で毎年発表することを目標に、一輪車の練習を続けてきました。「運動会で披露できそうな団体技を教わりたい」との希望です。また、ロングの一輪車に乗ることができる児童が卒業し、在校生が挑戦するきっかけも欲しかったそうです。

今回のインストラクターは、佐藤彩香さんと高田朝日さん。国内外の大会で活躍する選手です。

この日は時折、強い雨が降り、近くの山並みもかすんで見えました。講習会は体育館で開催されました。最初に稲葉校長が「2人はびっくりするような、すばらしい技を見せてくれます。目標にして、もっとうまくなってください」と挨拶して、児童たちの期待は高まります。

まずは高田さんが音楽に合わせて、技を組み合わせた模範演技を披露しました。次々と繰り返す難度の高い技に、舞台の上で演技を見守っていた児童たちの視線が釘付けになりました。模範演技の後には、高田さんが一つずつ技を実演し、

佐藤さんが解説します。跳び乗り、蹴り上げなどの乗り方、片足走行、タイヤ乗りなどの走り方、静止などの技術……。児童たちは「すごい」と声を上げます。

その後は、低学年と高学年に分かれ、児童たちの手をとっての実技指導です。高学年はみな一輪車に乗れますが、教える高田さんは「背筋を伸ばして」と姿勢の大切さを強調しました。さらなるレベルアップは基本からです。約 1 時間半の講習会で、児童たちは手応えをつかんだようでした。気になっていたロングの一輪車に挑戦する児童もいました。

最後に高田さんが「きょう習ったこと

をお互いに情報交換して、教えあってください。けがをしないように集中して練習してくださいね」と挨拶しました。佐藤さんが「きょう、ちょっとでも上手になった人は？」「楽しかった人は？」と問いかけると、児童全員から手が挙がり、みんな笑顔で講習会を終えました。

これからも一輪車の練習を続けてね



能登半島地震、支援内容決まる

被災地の28校に計580万円相当

2024 年 1 月に発生した能登半島地震について、ベルマーク財団は石川県内の計 28 校に総額 580 万円相当を支援することになりました。支援先は輪島市、珠洲市、能登町、穴水町の各市町教育委員会の協力を得て決定しました。

地震発生後の 1 月中旬から、財団ではベルマーク預金からの寄付を募る「緊急友愛援助」を呼びかけました。参加団体からの反響は大きく、86 団体から計約 260 万円の寄付の申し込みがありました。これに財団資金を加えたのが今回の支援額です。

9 月には現地を記録的な豪雨が襲ったことから、さらなる被害が発生し、復旧活動に支障と遅れが出ていまし

た。このたび受け入れ態勢が整い、現在順次、各校が希望する備品・教材を届けています。

支援先は以下の通りです。

輪島市 (6 校)

河井小・大屋小・鳳至小・鶴巣小・河原田小・三井小 (6 小学校仮設校舎で支援単位 1 校)、町野小、門前東小・門前西小 (2 小学校仮設校舎で支援単位 1 校)、輪島中、東陽中、門前中

珠洲市 (11 校)

上戸小、飯田小、直小、若山小、正院小、蛸島小、みさき小、緑丘中、三崎中、宝立小中、大谷小中

能登町 (8 校)

宇出津小、鶴川小、柳田小、松波小、小木小、柳田中、松波中、能都中

穴水町 (3 校)

向洋小、穴水小、穴水中

本の魅力を「帯」に

第21回「本の帯創作コンクール」

小学生が児童書を読み、「帯」をつくる「第 21 回大阪こども『本の帯創作コンクール』」(大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社主催)の作品募集が始まり、全国の小学生から応募を受け付けています。賞のひとつにベルマーク賞があります。

締め切りは 9 月 3 日(水)消印有効。募集要項、課題図書の一覧、帯のサイズや氏名票などの案内は大阪府読書推進会のホームページ(<http://osaka-books.ne.jp/index.php?e=277>)をご確認ください。

